

白色セメント系の内外装仕上材
CLモルタル
総合材マープル

— JIS A 6909(建築用仕上塗材)内外装厚塗材 C —

～人に優しく、自然環境に適した居住空間を持つ安心な住まい～

 **JIS A 6909**
認証番号

京都工場 TC 05 08 013
岡山工場 TC 06 08 016

【CLモルタル総合材マープル】

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0306122
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

CLモルタル総合材マarmor

個人住宅の様式は幾度となく変遷して来ましたが、今でもやはり一番捨て難く、我々の心の奥深くまで浸透して自然環境に適し、居心地良く安心感と安らぎを保てる住まいは、やはり、木の匂いのする木造住宅ではないでしょうか。

しかし、内外部の壁装に従来のセメントモルタルでは、あまりにもクラック、亀裂等欠点が多く、居心地の良い住まいのイメージを壊しかねない状況でした。

そこで、今までの砂、セメントモルタルの欠点を解消し、尚且つコンクリート住宅の内外壁材としても長期にまたがって柔らかでソフトな美観と強度を兼ね備えた壁装材として開発したCLモルタルが誕生しました。

[目 的]

この施工マニュアルは「CLモルタル総合材マarmor」の塗り工事における品質の確保と低亀裂性、耐久性等を追求する為のものです。

[用途・適用下地]

「CLモルタル総合材マarmor」は白色セメントを主材に寒水石等の骨材他数種類の混和材を絶妙に配合した、一般建造物の内外壁装と瓦屋根の面戸しっくい、ハチマキ等の化粧他建築関係の総合的な仕上材既調合モルタルです。

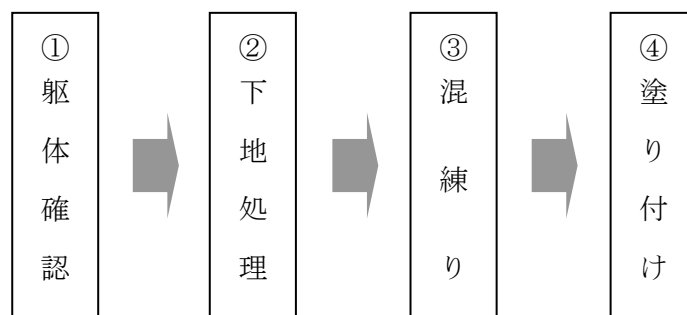
・中塗り完了のモルタル（既調合軽量モルタル含む） ・コンクリート（下地補修完了）

※瓦屋根の面戸しっくい等の化粧にも使用できます。

[規格・法令]

「CLモルタル総合材マarmor」は、JIS A 6909:2003（建築用仕上塗材）において内外装セメント系厚付け仕上塗材として適用する JIS 認証製品です。（C）

[施 工 工 程]



[施工方法]

CLモルタルは施工時から最終の仕上げ工事までの平均気温が5℃～35℃の範囲内で施工してください。

●「モルタル」下地の場合

① 躯体確認

- 1) モルタル仕上げに施工する際には、モルタル下地の表面がフラットに仕上がっているか、硬化不良、浮き、ひび割れ等CLモルタル施工に支障がないか点検し、支障のある場合は管理者と協議の上適切な処置を講じて下さい。
- 2) 施工前に躯体温度が5℃～40℃の範囲内（適正温度）であるか確認し、範囲外であれば水打ち、シート養生等して適正な温度にして下さい。
※躯体が高温の場合、ドライアウト、亀裂、浮き、剥れ等の原因となり、低温の場合接着不良、硬化遅延、ズレ、剥離、白華等の原因となります。

② 下地処理

- 1) モルタル下地とCLモルタルとの界面の付着強さを増強するために、モルタル表面のエフロ除去を徹底して下さい。
- 2) それに加えて、「シーラーN #45」の3倍液を壁面全体に充分塗布し乾燥させて下さい。（「シーラーN #45」 1 : 清水 2）

③ 混練り

標準調合

「CLモルタル総合材マーブル」…… 1袋(25kg)	清水……………約 6.5～7ℓ
----------------------------	-----------------

※気温が高く吸水し易い下地に施工する場合は標準水量を1ℓ減量し、その分「シーラーN #45」を1kg混入した混合水で混練りして下さい。

- 1) モルタルミキサーに「CLモルタル総合材マーブル」を入れ、標準水量を徐々に入れながら混練りし、適度な軟度に調整して使用して下さい。
- 2) 標準水量より少な目の清水を練り容器に取り、粉体を加えながら混練りし、残りの清水を徐々に加えて適度な軟度に調整して使用して下さい。

※標準水量以上の清水で混練りすると亀裂の原因や白華を発生しやすくさせる要因になりますのでご注意ください。

《注意》練り戻しの禁止

一度混練りしたモルタルは夏期1時間、冬期2時間以内に使い切り、練り足しや硬くなっても練り戻ししないで下さい。亀裂の原因になります。

④ 塗り付け

- 1) モルタル下地の表面状況を適正に確認後、下地に対して鍔圧をかけながら薄く下塗りし、追っかけて所定の塗り厚3～6mmまで塗り付け表面を平滑に仕上げして下さい。
- 2) 乾き具合のタイミングを見計ってコテ押さえ仕上げ、もしくはKCローラー等で模様仕上げをして下さい。

※コテ仕上げの場合はモルタルが鍔焼けしないステンレス鍔かプラスチック鍔で仕上げして下さい。

※KCローラーでの模様仕上げは、CLモルタルが指で押さえ引っ付かず凹む位のタイミングで各種KCローラー等の模様仕上げをして、ローラーのジョイントが目立たないように、丁寧に仕上げして下さい。

● 「コンクリート」下地の場合

① 躯体確認

- 1) コンクリートに施工する際には壁面のピンホール、ジャンカ、段違い面などが綺麗に尚且つフラットに補修してあるか、また、硬化不良、浮き、ひび割れなどCLモルタルの施工に支障がないか点検し、支障のある場合は管理者と協議の上適切な処置を講じて下さい。

- 2) 施工前に躯体温度が5℃～40℃の範囲内（適正温度）であるか確認し、範囲外であれば水打ち、シート養生等して適正な温度にして下さい。

※躯体が高温の場合、ドライアウト、亀裂、浮き、剥れ等の原因となり、低温の場合接着不良、硬化遅延、ズレ、剥離、白華等の原因となります。

②下地処理、**③混練り**、**④塗り付け** はモルタル下地の場合と同様です。

●瓦屋根の「面戸しっくい」に使用する場合

① 躯体確認

- 1) 家屋の本棟、下り棟は施工時に屋根土で強固に作って下さい。〔注1〕
- 2) 屋根土の表面のホコリ、汚れ等を取り除いて下さい。
- 3) 屋根土が乾燥している場合は水打ちするか、「シーラーN #45」の3倍液を塗布して下さい。
- 4) 施工前に躯体温度が5℃～40℃の範囲内（適正温度）であるか確認し、範囲外であれば水打ち、シート養生等して適正な温度にして下さい。

〔注1〕屋根土：屋根土、セメント、つなぎ材他混和材をブレンドしたもの

※躯体が高温の場合、ドライアウト、亀裂、浮き、剥れ等の原因となり、低温の場合接着不良、硬化遅延、ズレ、剥離、白華などの原因となります。

② 下地処理

- 1) 下地表面が乾燥している場合は水打ちするか、「シーラーN #45」の3倍液を塗布し吸水調整をして、CLモルタルとの付着を増強して下さい。（「シーラーN #45」
1 : 清水 2)
- 2) 下地が生および半乾燥の場合はそのまま施工して下さい。

③混練り はモルタル下地の場合と同様です。

④ 塗り付け

- 1) 屋根土表面の状況を適正に確認し、平瓦に沿って4mm程度塗り付け丁寧に仕上げして下さい。

使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合品です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

1. 既調合品の為、指定材料以外のものを練り混ぜないで下さい。なお、混練りには水道水等の清水を使用して下さい。
2. 混練りした材料は夏期1時間、冬期2時間以内に使用して下さい。練り足しや加水して練り戻しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が5℃～35℃の範囲内で行ってください。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から6カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
6. 下地コンクリートが、JASS5〈鉄筋コンクリート工事〉の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
7. 悪天候（降雨、降雪等）、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

取扱い時の安全対策（概要）

・ 取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、セメント同様の取扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

・ 応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低15分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

・ 廃棄場の注意

廃棄する製品や混練り材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー



株式会社

豊運



本社・営業本部 〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目12番4号

TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004 岡山営業部 TEL 0868-38-4001 FAX 0868-38-7022

大阪営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133 京都営業課 TEL 0771-86-0711 FAX 0771-86-0811

URL: <http://www.ho-un.co.jp/>